

冒頭あいさつした杉森純子委員長は「測量技術者の中で女性は約2%しかおらず、働きたい、働き続けたい、また戻ってきたいという女性のために委員会を立ち上げた」とした上で、「委員会では女性技術者の情報交換の場の提供、Eラーニングを活用した技術力向上、大学を訪問したりクルート活動を考えている。働き続けたい女性技術者の考え方を共有し、多様な働き方があるということを認識してほしい」と開催の意義を述べた。

女性技術者は業界のロールモデルに

測量協シンプ

日本測量協会の測量・地理空間情報女性の技術力向上委員会は、東京都江東区の日本科学未来館で開催されたG空間EXPO2015でシンポジウム「輝け！女性技術者」を開いた。



ウー・ウェンシヨウ代表取締役

役員長が、女性技術者や一緒に働く男性社員に測量業界は古いという概念を変えさせよう呼び掛けた。写真。「技術者である以上、常にプロフェッショナルでなければならぬ。前例が少ないと言われるが、自分がロールモデルになるように努力してほしい」と女性技術者にエールを送った。

パネルディスカッションでは、国土交通省国土地理院企画部技術管理課のマービット京湖国際標準係長、菅原測量設計の菅原佳子社長、ティコク環境ソリューション本部環境防災解析室の小池百合子氏、日刊建設通信新聞社の田嶋千文氏が女性技術者の働き方について意見を交換。仕事と家庭を両立する上での取捨選択や性別を意識させない働

き方などについて活発に議論した。

